



かさおか輝き新聞

～坂本りょうへい市政報告～

発行：令和3年10月
発行責任者：坂本りょうへい
岡山県笠岡市大宜 605
電話：0865-66-1818

稲穂垂れ、過ごしやすい季節となりました。また暑かった夏に開催された熱かった東京2020オリンピック・パラリンピックも無事終了し、素晴らしい競技に感動を覚えると共に日本の底力を世界に発信できた期間でした。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大はデルタ型をはじめ第5波の影響は地方にも拡大し、笠岡市においても時短営業だけでなく、様々な分野において生活のあり方が変化してきています。さて、9月定例議会が終了しましたので報告とさせていただきます。



9月定例議会（会期 8/31 - 9/29）

この度の9月定例議会は、前回同様に緊急事態宣言下招集され開催をすることになりました。本議会では審査における資料提出に不明な点があるとして令和2年度の決算認定他議案を継続審査とするなど会期中の**審査未了**事案が出ています。

【審査未了となった原因】干拓地内施設について、笠岡市が昨年5月に賃貸契約を締結し貸与開始、その後6月に契約書に記載されている設備が無いことが判明しました。本来であれば判明後、速やかな報告と改善に対して市議会側との調整を行うべきところを放置し、翌年3月議会には観光振興として当該設備設置を予算請求し否決、6月議会には障がい者への対応として予算請求し否決しています。そして、9月議会にて同様の予算請求がされるが初日に突然の謝罪が行われ「記載ミス」との説明がされました。これに対して市議会は経緯など関係書類の提出を求めるも必要資料の提出がされていません。市議会は他の審査においても資料請求した場合に出せないでは審査ができないとして審査未了という判断を下し、またこの間議会空転という結果となってしまいました。

坂本の目 一連の流れを確認する中で、本予算請求についてなぜ隠す必要があったのか？このような執行部と市議会との関係は市民に対して申し訳ないと非常に残念に感じています。本件は特別委員会（坂本も参加）が立ち上がりまた調査における監査請求も行われ、引き続き調査をして参ります。

コロナ感染における発信内容を指摘

コロナ感染における市長発信が個人を特定する内容であったことから総務文教委員会内で発信に関する修正削除を求め指摘をしました。この件については発議として全員一致で決議され市長に削除依頼の文章を提出させていただきました。

◆◆一般会計補正予算を審議しました◆◆

令和3年度一般会計補正予算は予算決算委員会で執行部より補足説明を受け17議案を審議しました。

【今回削除した案件は以下の通りです】

①市制70周年記念事業／1,892万円（債務負担処理他）
来年の市制施行70周年の式典や事業に対してプロポーザルの予算として1,892万円を計上。

*予算の積算が特定業者の見積をベースとの説明、また70周年企画委員会が合意したとの説明だったが委員会での詳細な説明はなく予算計上に対しての根拠が不十分として否決しました。

②農道離着陸場整備事業／749万円
空港活用に対する大型寄付を利用し老朽化する管理棟等修繕にかかる費用を計上。

*県所有の施設であり県に修繕を依頼するべきである。また今後の活用についても不明確として否決しました。

坂本の目 農道空港は立地的にも磨き方次第では笠岡市の宝となると考える。また平成4年に修繕は笠岡市での調印をしている関係で修繕は笠岡市となっている。修繕するとしても笠岡市の将来ビジョンの明確化と修繕後の使用規約等の見直しをお願いしました。

③警鐘台撤去事業／80万円
老朽化し転倒の危険性があった警鐘台を撤去する費用。
*緊急性を要したために事前撤去したがその後の報告がなかったとして否決。

坂本の目 消防団員の安全、緊急性を要するものであるため撤去したことは問題はない、この報告を怠ったとして否決をしているが坂本としては否決ではなく注意で止めるべきであったと考える。こういった緊急事案につ

いては今後再考をするように働きかけていきたい。



日々の活動報告を配信中



皆様の声、地域の声を教えてください。皆様の声を活動の指針として参ります。

kasaoka.mirai@gmail.com

【補正予算の主な可決案件】

本庁舎のトイレ整備事業：来庁者の利便性と衛生面の向上を図るためにトイレの洋式化等の改修（101万円）

笠岡市・里庄町相談支援センター移設事業：障がい者やその家族の困りごとに対して、プライバシーに配慮しながら安心して相談できる環境を整えるためにサンライフ笠岡内へ移転する費用（2,350円）

坂本 現在の社会福祉事業所内では手狭でプライバシー保護や相談業務に支障が出ていました。前回は否決されましたが今回様々なご理解のもと支援のいる皆様によって環境整備の予算が付きしました。

金浦中学校ブロック小中一貫教育校整備検討事業：金浦中学校ブロックでの一貫校整備にあたり学識経験者や地域代表の方々による検討委員会を設置し施設整備の基本的な考え方や諸課題について検討する。（33万円）

坂本 小中一貫教育についての保護者理解は一定方向の理解はあるが一体型建設が必要なのかは議論をする必要がある。令和5年以降大きなお金が必要となる笠岡市において教育＝箱物という構図には疑問を感じる。しかし、逆に考えるなら「やるからには」、とりあえずやりましたではなく県内一番の一体型を目指しこの学校で学びたい、学ばせたいと思える施設にしてもらいたい。



その他、新型コロナウイルスワクチン接種事業含む7議案3,225万円の補正予算が可決されました。

イノシシ駆除「山の10頭より畑の1頭を」

現在市内全域でイノシシ駆除に関する問題が出ています。笠岡市と猟友会の間に起きた市協力金支給制度における調整不調により猟友会が駆除活動を停止したことによるものです。実際に田畑だけでなく通学路や庭先にも出没し、高齢者や子ども達にも危険がある状況に、各地域では住民組織が立ち上がり駆除の和が広がっています。

坂本 今回の発端は一頭でも多く駆除したいと協力金を支給したことから始まり、11月からの猟期についても協力金を支払うことに猟友会が反発したものです。現在は駆除にわざわざ農政水産課職員が現地に赴き対応する事になっています。これも職員の仕事なのか疑問であるし、捕獲駆除に関する方への予算計上をしているが効果が見えません。両者の折り合いがつかないのであれば早急に、第三機関を創設しエリア別また包括的に地域組織と連携できるような仕組みを作るべきと考えます。

そして、**協力金の支給**についても再考の必要があると感じています。



私自身も状況を確認し研究をしていきたいと思っています。

議案 61 号 笠岡市廃棄物の処理及び清掃に関する条例を一部改正する条例について

現在のゴミ袋の超過従量制から単純従量制へ移行する提案であったが現在政策提言の取りまとめをしており継続審査とした。

坂本 ゴミ袋有料化に向けた提案は再三にわたり否決や継続審査となっているが、今後の処理にかかる経費を考えても必要であると考えなか、一気に移行するのではなく段階的に移行してはどうかとも考えます。

議案 66 号 笠岡市水道条例の一部を改正する条例について

水道料金の見直し案として口径25mm以下の基本料金の100～200円値下げから使用量ごとの水道料金変動方式であったが今後の敷設更新や企業の負担増などを加味したうえで研究が必要として継続審査とした。

一般質問 代表質問（笠栄会 坂本亮平）**感染症における笠岡市独自計画策定について（抜粋）**

Q. 新型コロナウイルス感染症拡大を経験したことにより今後に備えて市民の安心と安定した生活維持のために独自計画を策定するのか？

A. 現時点では計画を策定しない。

Q. 緊急事態や蔓延防止期間で県や市の公共施設の利用制限にばらつきがある、一部施設に前倒し利用開始をしたりと市民の安全確保にどういった基準があるのか？

A. 一部前倒し利用は対策本部で安全と判断したため利用開始をした。**坂本** 市民の安全を優先するのであれば他施設と同基準で利用制限をすることが必要ではないか。

笠岡市教育行政の方向性について（抜粋）

Q. 働き方による部活動改革は令和5年から段階的な地域移行と文科省が方針を出しているが、笠岡市として中学校通しの横の連携や総合型クラブチームとの連携は検討していくのか？

A. 中学校通しの横連携の改善、部活動支援員や指導者の確保からより多様な部活動ができるようにしていく。

坂本 小中一貫教育においては小学校高学年から部活動に触れることができる発育期の心身向上のためぜひ前向きに検討してほしい。

Q. GIGAスクール構想により端末を使った教育も必要だが人と人、相手の思いやる教育をしてほしい。

A. 同時進行で子ども達が総合的に育つ仕組みをつくっていきます。

地域の声 改善報告（ご理解とご協力ありがとうございました。）

安全対策ガードパイプ設置（完了） 落石防止対策（2022 着工）
団地内水路改善（段階的対応） 市道見通し改善（完了）
市道修繕・河川保全（要望書提出） ため池改修（調整中）